

KOLA

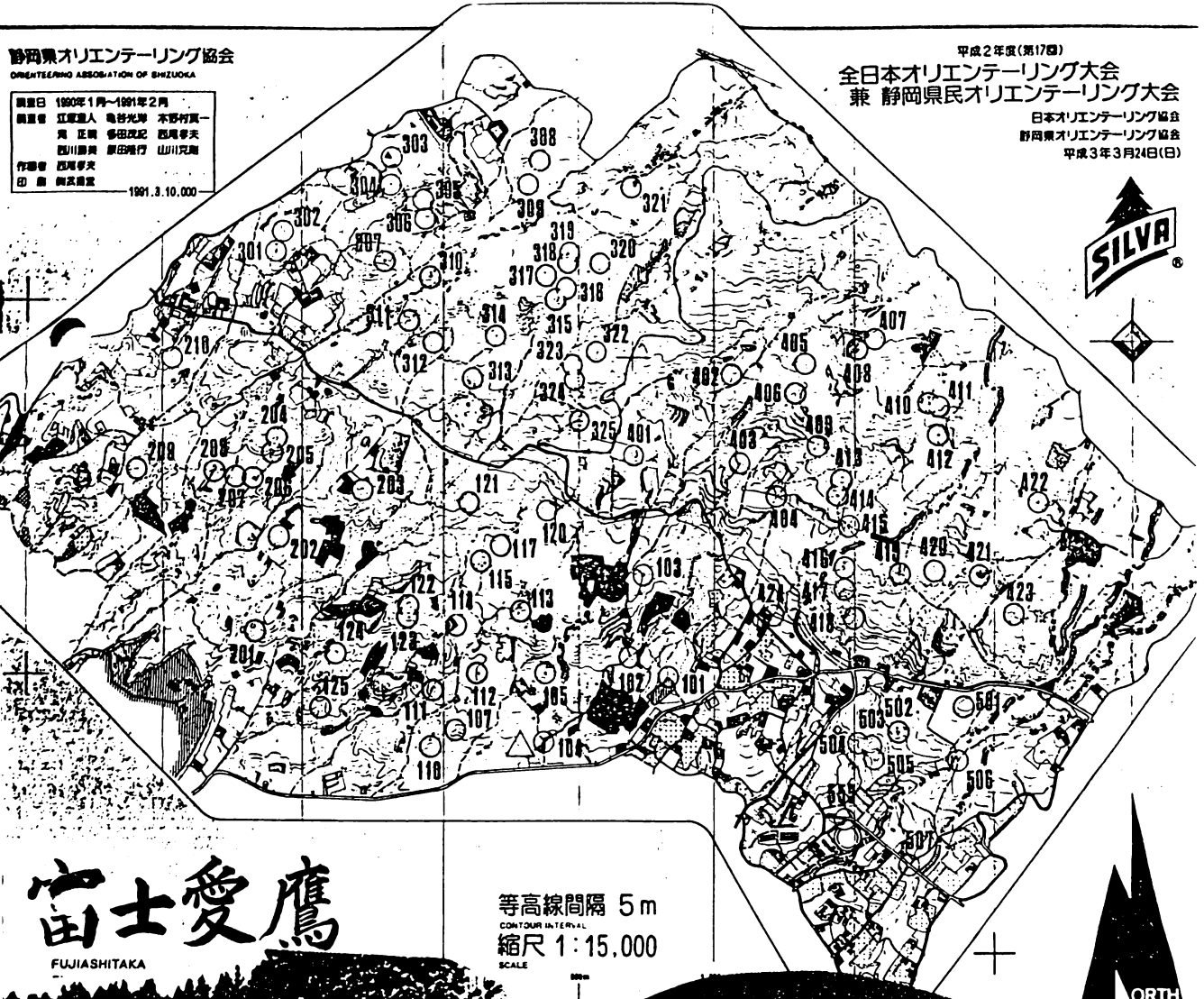
岸和田
オリエンテーリング協会
・編集部・〒596
岸和田市小松里町477-2
1991・横田 実
第89号 刊3年4月5日

静岡県オリエンテーリング協会
ORIENTEERING ASSOCIATION OF SHIZUOKA

創刊日 1980年1月~1981年2月
創刊者 江原重人 亀谷光輝 木野村真一
編集 正岡 幸徳 改訂 西尾孝夫
西川勝美 原田雅行 山川克海
作業者 西尾孝夫
印刷 興茂堂 1991.3.10.000

平成2年度(第17回)
全日本オリエンテーリング大会
兼 静岡県民オリエンテーリング大会

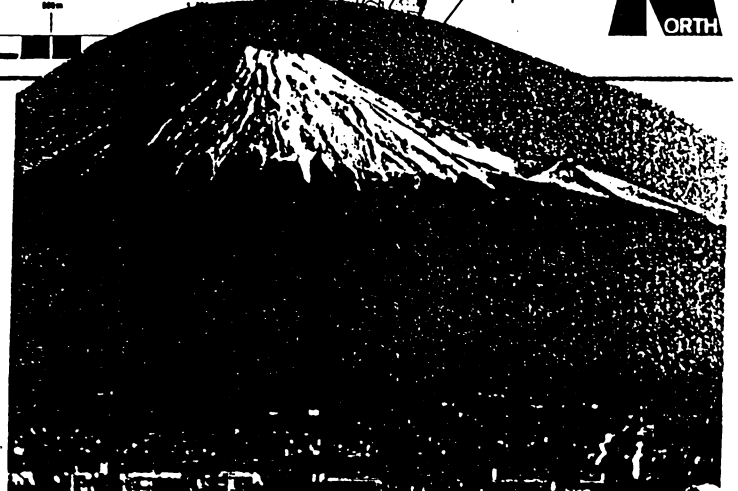
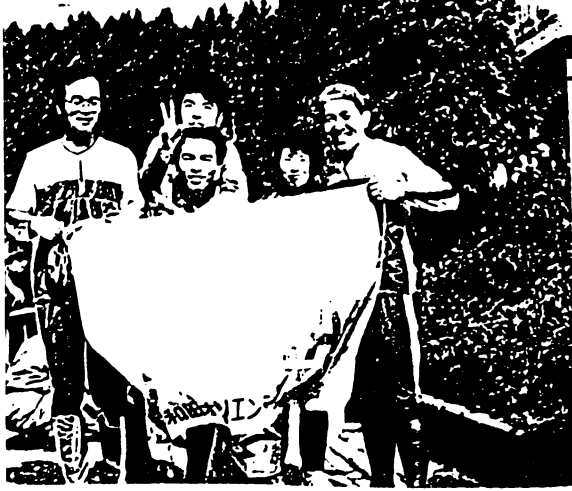
日本オリエンテーリング協会
静岡県オリエンテーリング協会
平成3年3月24日(日)



富士愛鷹

FUJUSHITAKA

等高線間隔 5m
CONTOUR INTERVAL
縮尺 1:15,000
SCALE



真っ白のテラインの恐怖？

トップスタート⇒ラストゴール！？

11:03のスタート時刻。危ぐされた富士のお山も綺麗に見えました。

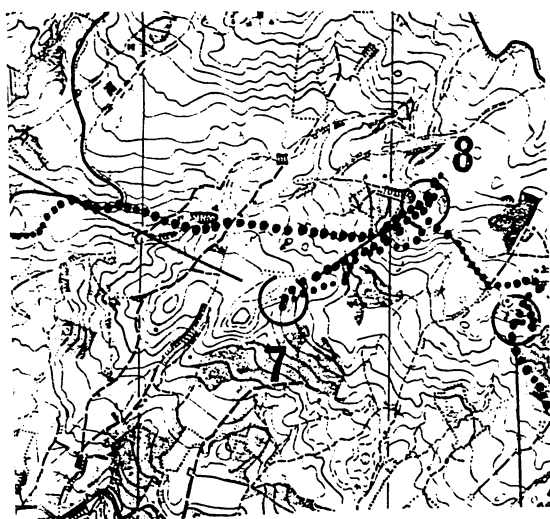
スタート前は会場でゆっくりと雰囲気を楽しんで、見知ったOL仲間の後を追走して一年の総決算！ともくろんでいました。だって11:03スタートですよ。ところがです、なんとH35Aクラスのトップスタートだったとは。メンバーをみて、今日はトップスタートのラストゴールのつもりで気楽にいけるななんて冗談に思っていました。あくまで冗談にです。…

が、現実になってしまいました。ゴール後は敗因の分析をしていましたが、時間がこの落ち込みに入らせてくれました。走力とか、技術とか、精神力だとか言う前に基本からやり直さないとダメなんでしょうね。

スタート後はコンパスに従ってまっしぐら。若干左に振って小道に当たってバックでOK。2番へも慎重に地形を読んでアタックOK。

3番へは右へ大きくそれていく、舗装道路が見えてアレっ？しかし現地確認は簡単にできて再度アタックでOK。4番またまた狙いから右へ大きくそれてしまった。この辺は地図を見ているようで見ていない…ゴール後見るとなんで？となる。なんとか再アタック。5番OK。6番も慎重にOK。

さぁ1Km強のロングレグ、まずは救護所を目指してコンパスを頼りに直進、途中の地形を見ながら慎重に進んで狙い通り、後に続くメンバーにはまだ追い付かれていない（…と思う）



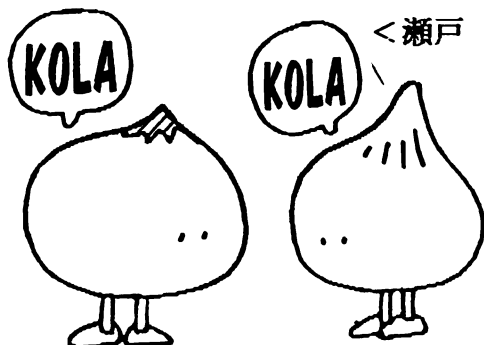
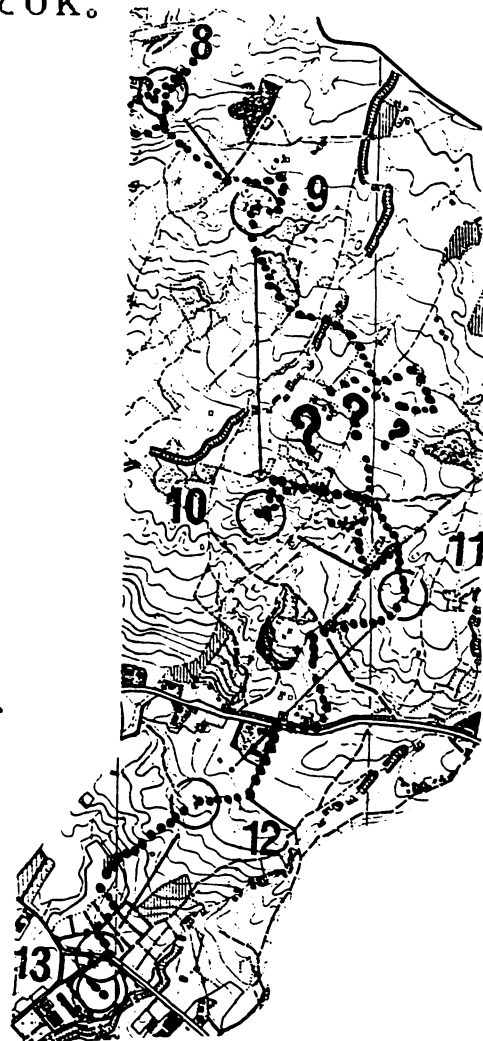
今日はいけるかな、と思いつつ7番を目指すが、他のポストは見付かるが406のナンバーがない。と思案しているとOLPの上田さんがパンチしている。ソー？あーここは8番だ。どこで間違ったか、7番のつもりで8番を目指していた。急きょ7番を取りにいったら9番に向かう（さっき8番をパンチした）がコンパスを当て、楽な方を上っていくとな

んと8番に着いてしまう。ルールをまもらにゃ…と苦笑いのまだ余裕があり
そう?! 9番には遠回りながらも一つ一つ確認できてOK。

10番へは南へ走れ〜の簡単ルート…でした、
自分ではそのつもりだった。しかし、溝や小道を
確認して走っているはずがEクラスのラジオポ
ストに出くわす。この辺からおかしくなってきた、
そこで現地を聞きゃ良いものを“こことここを確
認してきたから今はここだ”なんて思い込んで目
指すチェックポイントへ向かう。が見当たらない。
後で振り返ればとんでもない地点に居るのだから
当然!しかし富士の裾野は真っ白のテライン。東
西南北自由に進めるが、逆に現在地を失えば確認
が難しい。何とか他のランナーに会えば現在地を
聞こうと思うが、遅いスタート時刻にロスの積み
重ねで静かな森林浴?昔は地図の外に飛び出した時、
富士の山に向かって走って現在地を確認できたが、
今回は無情にも見えず相当南下して道に出る。今度
こそここだ、と思っている所に女子Eランナーの姿
が見え、ここはどこだよ〜で助かった。急きょ10
番に急ぎパンチ!どないなるやら安堵の気持ちでイ
ザ11番は…と見ると、なんと先程確認した地点は
11番のすぐ横だったではないか、全然見えていない。

後は一分でも早く帰りたい思いでひたすら多くの足跡のあるコースを選んで走
りゴールに飛び込んだが、そこにはH35Aクラスのラストでスタートしたは
ずの堀さんがニコヤカに出迎えてくれていた。冗談が現実になった時、ジワリ
と襲ってくるなさけなさ。

失敗があるからOLは面白い・・・なんて言っていられない!H35ラスト
イヤーの挑戦は、本気でやらねば…



<瀬戸 照久>

◇全日本大会を振りかえって!!!

今回の全日本大会は、全くレースに対する準備をしていなかった…というよりも全く準備が出来なかった。(私的なことでゴタゴタがあって練習どころではなかった)よって、5月4、5日のO-Cupや以後のレースのために、一応レースに出ようと思いで出場した。ちょうど二年前、福島の全日本を捨てごまにして公認千葉で優勝したように。だから、今回は参加する事に意義があると思ひ、レースに臨んだ。

(スタートまで) 朝日大会の行きの列車でたまたま同席だった相模女子大の女の子と再会。スタートが同じスタート(彼女はD19-20A 10:13)だったので一緒にジョック(おしゃべり)をしてスタートに向かう。

(レース前半) 地形と自分の描いた地形とが完全に一致した。こんな事はめずらしい。富士山のゲレンデは私にとって相性がよいかも。しかし、トレーニングをしていないので“酸欠、足をつるのではなかろうか”とレース中に不安がよぎった。その結果、相当つぼるのではないかと思った。

《やはり予感は的中してしまった》

(レース後半) 足はつるし、思考力が全くなくなるし、ミス連続。テープ誘導区間でこんなに抜かれるとは…。(木植さんと相模女子大の女の子に“清水さん、足つっていたでしょう”とレース後言われてしまった)

(振り返って) まあ、O-Cupまでに万全にしたいと思う。

清水 泰生 H21A₂出場 = 1.52.01



百年プリント1991

全日本OL記行 '91

岸和田OL組は、3月23日（土）PM2:00岸和田を出発して、高速道路を東へひた走る。トンネルを抜けると阻む物は何もなただ走る世界へ。

㊦手に汗

我が愛車（セ-1300）が140Km/hもスピードが出るとは知らなかった。助手席でゴーカートに乗ってる気分になり手に汗を握っていた。

㊧玉葱を注文

富士駅近く、「コンターズはぐれ」も加わり炉端屋へ繰り出し、馬刺し・肝刺しで明日への脚力を多めに蓄積、ビールで胃を洗浄しつつ、「ない」と言い張る玉葱をしつこく注文。店主何処かへ出ていき玉葱片手に帰って来る。焼き玉葱とスライス、オニオンスライスにマヨネーズ醤油、封も切っていないマヨネーズを出して来て、店主曰「そんなもの人間の食うもんじゃねー」

㊨ビュティフル フジヤマ

6年前の東日本大会で泊まって忘れられなかったホテルに宿泊、ここの9階レストランの富士を全面にした眺望はなんと素晴らしい事か。今日も雪を頂いた富士は雲を従えて勇壮な姿を現している。しかし煙突が多いな。

㊩春うらら

前々日の雨が何処へ行ったか、ユニホーム1枚でも暖かく壮快な日和だ。スタートまでの道のりも、ゆーたりとのたりのたりかな。

㊪真っ白け

スタート二分钟前、前走者の地図が見えた、地図全域にわたって白。直進が自信なく恐そう。だが気分はプレッシャーや気ぜわしさもなく平常心だ。第一ポストへ直進は冒険と判断、まずは道たどって。

㊫21Aに教える

我が岸和田組ホーフ、道走り2番ポスト前（あいまいな）交差点において

寺田 保

接触、確実な点を教える。しかし自分の行き先もおかしくなる、たくさん人が行き交う沢へ向かう、ラッキー。どうも道と溝を混同していたらしい。

㊬緑は緑

3番ポストへ狙いをつけ、黒い地面に杉の黒い幹の間を直進、まだ地形がピンと頭に入っていない、そこへ現れたのが緑の林、地図上のみどりは現地へ行ったら青々とした緑である。狙いがそれ左へ相当振っていたが同じ形の緑の柄が目の前にある、まだ不安が残るが先へ進む。

㊭足跡

後半道走りもしにくくなってきた、ポストからポストへ直進あるのみ、全走者の足跡が道となって続いている、崖を下り溝を超え進むうちに所々あった足跡も自分の足跡だけになってくる、登りも手伝って歩速も鈍りがち。

㊮ロングレグ

給水所で一息、しかし次へはどう行けばいいのか、道路の急な曲がりからアタック、道・川の崖・小径・小川と順調に横断、？川、パニック。まわりを見回すと丘の上に人垣がとりあえず現地確認のため登る、2個の岩がある地図とピッタリ、しかしロスも大きい。先のパニックの起こした川は波線の溝だったか後悔が残る。目標をしっかりと持たずに走る超ロングレグは不安がいっぱい、おまけにランナー達は右へ左へ目の前を横切り同じ方向へはこない。

㊯同じクラス（H40A）

先の尾根へ行くのに思い切りがなく手前を下ってしまい道へ、確認のため道の分岐から尾根を目指す、そこへ吉備路福田さんと会う、聞くと20分後のスタートとの事、彼の後追っかけるが足がもつれ腰が上がらない。5m10mはすぐに離される。ちなみに福田さんとは同じクラス。駄一目だコリヤ。

迷いまくった全日本!

横田 実

「美しい富士を見るために行くんだ」、と言い分けを考えながら東名ハイウェイをすっ飛ばして、旧国鉄の富士駅前のビジネスホテルへ。新幹線でやってきた游さんと4人で酒に身を任せ、明日の好天を期待しつつ、眠りにつく。

さすがに、全日本。更衣室となっている体育館が、まさに立錫の余地なし。KOLAから参加した4人の中では、僕が最初のスタート(10:07)。清水君の目を付けていた女の子と無理やり写真を取って、スタート地点に向う。

10:07スタート。まずは、足取り軽く1番(113)へ向った。しかし、悲劇はここから始まった。方角をまるまる90°間違い、なんと1時間以上も(113)を探してうろうろする羽目に。近くにあった(114)(117)(115)を見つけるのだが、肝心のポストが見つからない。途中で保さんとお会い、現在位置を教えてもらっても、まだ見つからない。結局原因は、2つ目の分岐を「最初」だと勘違いしたためだったのだが、なんとも御粗末。

やっと発見。ようやく2番目(209)に取り掛かる。林の中で、下草も全然生えていなかったので走り抜けるのは楽なもの。目指す分岐に、ようやくまともに出てきて目指すポストに……と思っていたのが大間違い。この分岐も1つ行き過ぎていて、まとも長時間うろうろうろうろ…。(209)で中間チェックをしていた人に、現在位置を教えてもらい、まとも引き返す。(身体は元気だが、精神的にずたずたですよ。)



このあと順調に③~⑦をとる。途中の救護所では、水を3杯飲干し、元気は多少回復(仙豆があればなあ)。ところが、8番(413)へ行くときまとも、どつぼる。そこらを走り回っていたオリエンティア4人で現在位置を確認するが、全員が違う場所を差し示す。しかたなくわかるころまで引き返し、もう一度チャレンジ。そして、発見。

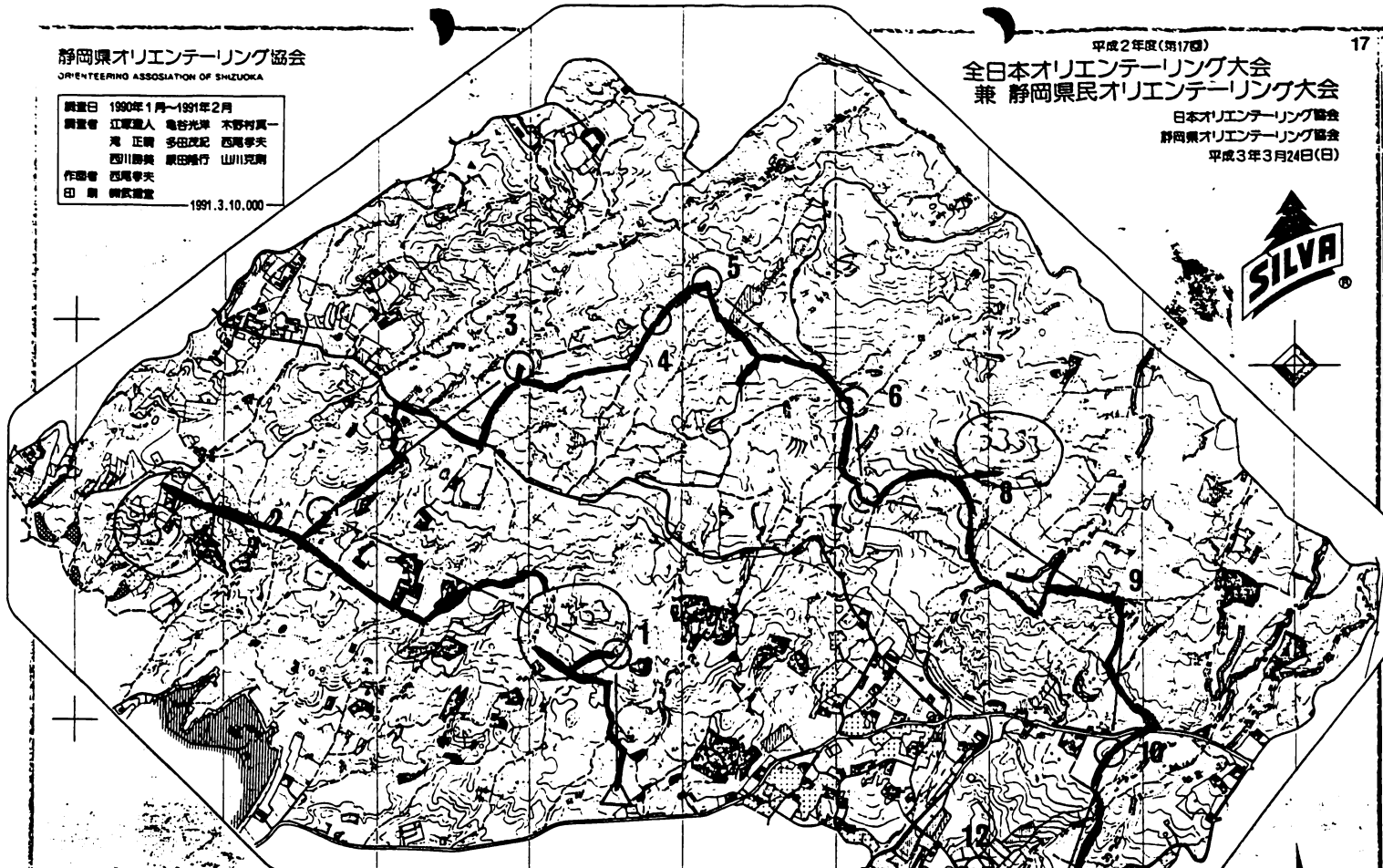
9番へ行く時に、まとも迷っていたのだが、運良く游さんが通り掛かり、なんとか順調に最後まで行くことが出来た。

経過時間は「3時間以上」。勿論、H21B₁ではべっただった。しかし、この間の「淡路大会」といい今回といい、女の子と並んで写真を取ると、なぜか長時間かかってしまう。幸運の女神が、焼き餅を焼くのだろうか。今度は、OLが終わるまで、女の子と話しをしないようにしておこう。

静岡県オリエンテーリング協会
ORIENTEERING ASSOCIATION OF SHIZUOKA

開催日 1990年1月—1991年2月
調査者 江草道人 亀谷光洋 不野村真一
滝 正樹 多田茂紀 西尾孝夫
西川勝美 原田隆行 山川克剛
作図者 西尾孝夫
印刷 朝武堂 1991.3.10.000

平成2年度(第17回)
全日本オリエンテーリング大会
兼 静岡県民オリエンテーリング大会
日本オリエンテーリング協会
静岡県オリエンテーリング協会
平成3年3月24日(日)



17

	H21Bz	6400		
1	113	↑	八	
2	1206		⊗	
3	1312		∕∕∕	
4	1315		○	ん
5	1320		○	ん
6	1402		∕∕∕	
7	1403		∕∕∕	八
8	1413		⊗	
9	1421	↖	m	6.0 〇
10	1501		∕∕∕	
11	1507		/ X	
12	1555		/ Y	

○ --- -150 --- ○



救護所

- 地図記号
- 主要道路
 - 普通道路
 - 道
 - 小 道
 - 小 橋
 - 切り崩れ
 - 崖中の道路
 - 崖壁、崖
 - 崖生草 (折断、明瞭)
 - 溝 (通り抜け不可)
 - 溝 (通り抜け可能)
 - 崖脚、崖脚線
 - 高地、小色名所、墓
 - 丸、石陣、武蔵屋敷
 - 地・石、大色名所・石
 - 地・石
 - 土がけ、岩がけ (通過可能)
 - 土がけ、岩がけ (通過不能)
 - ぶき、小色名所、きれつ
 - ぶき、小色名所
 - 凹地、小色名所
 - 池、湧気 (地・土)
 - 湖・季節的水路、せせ
 - 野水 (湖)
 - 砂、砂
 - 立入禁止の裸けた土地
 - 農地、畑
 - 立入可能な裸けた土地
 - 農地の敷地
 - 荒地、森林地
 - 通行可能
 - 中つくりし方が読めない
 - 読めてし方がない
 - 通行困難
 - しんたけ
 - 荒廃立入り禁止区域

富士愛鷹

FUJUSHITAKA 富士市役 鈴木秀晃 著
FUJI & FUJINOMIYA, JAPAN
静岡県富士市 富士宮市

等高線間隔 5m
CONTOUR INTERVAL
縮尺 1:15,000
SCALE



9

HE 村越氏 全日本 1 2 連覇の偉業達成！

DE 木植早生さん制覇！

今年も村越 真の名前がトップだった。実に第6回大会から常にトップを保っている日本OL界のスーパーエリートと言えるでしょう。後に続く日本の若手は何をしているんだ…とも言いたいのだが、ここは素直にワンダフル！

第17回全日本OL大会 成績速報

H21E	①	村越 真	1.08.36	⑩	石井 龍男	1.27.42
D21E	①	木植 早生	1.12.23			
H21A ₂	104	清水 泰生	1.52.01			
H35A		佐藤 清一	1.25.59		荻田 育徳	1.36.28
		石賀 敏	1.47.47		游 賢忠	1.50.57
	33	瀬戸 照久	2.27.28			
H40A	36	寺田 保	1.53.05			
H50A		池田 辰雄	1.51.48			
H21B ₂		頓宮 秀徳	2.07.18	59	横田 実	3.10.55
H40B		中尾 正和	1.06.33		中田 茂夫	1.12.58
D50A	②	池田 富子	1.30.07			
D35B	①	中田 啓子	1.27.42			
D55	⑤	三好 良子	1.31.39			

= 会員及び会報購読者 =

ゴール後、しばらくすると自分の出来に徐々に落ち込みぎみの精神状態で、速報所を眺めているのは本当に疲れます。よって購読者の方を見逃しているかも知れません。漏れている場合はご容赦下さい。

KOLA連絡事項

- ◆ 2月(87号)・3月(88号)会報の発送が遅くなって申し訳ありません。会報自体は正規に発行されていたのですが、発送を受け持つ私自身の仕事の変更などでついついと遅くなってしまったものです。今後もこのままだと、何度もありそうです。どなたかに引き継ぐべく努力致します。 <瀬戸>
- ◇ 4月から新しい仲間が増える素晴らしいニュースをお届けします。昨年から各地の大会などでお顔を見掛ける“貝塚市の東さん”“松原市の村橋さん”から私達の仲間になります。とのお声を頂いています。
- ◇ 4月6日オーツタイヤのレクOL主管致します。手空きの方お手伝い下さい。
- ◇ 3月25日府OL委員会が有りました。当会は事情により欠席となりましたが報告を頂いています。おって報告をしますが、大阪OL界も私達の手で進めて行かなくては成りません。皆さんのご協力をお願い致します。
- ◎ 4月21日は年次総会です。事前に資料を送付予定ですが、私自身の繁忙から間に合うかどうか。もし、間に合わない場合ご容赦下さい。会費の納入もご用意下さい。

大阪城観（寒）梅OL吹きっさらしの寒風にふるえ歩記

2月24日晴れ時々曇り（非常に寒し）

先日、神於山パーマネントコースを歩いた時とうって変わった大寒波の襲来に、せっかく咲きかけた梅の花も元の蕾に戻っているのではなかろうか、観梅でなくて寒梅ではなかろうかと思いつつ保さんを誘って参加。

9時過ぎに出発、ルート26を一路大阪城へ、途中泉大津市内で火災に遭遇。私めの商売のテリトリーで有り気にはなるのですが、通行止めで入れないので帰りに確認をすることにしてその場を通過。

例によって集合場所は噴水前。その噴水の溜め水も凍り付いていた。当会から横田、彼の教え子の吉村の両君が既に到着しスタンバイOKの様子。

我等も第一受付を済ます、競技はA、Bクラスはコンパス&歩測によるOL、NクラスはポイントOL、保さんは当然A、私と家内はこれまた当然の如くNでそれぞれ申込を済ませ第二受付へ、スタート時間は10時40分。時計は10時19分、20分以上待時間がある、とにかく寒い、風のあたりにくい、日当たりの良いところを探して（実際にはそんな場所はない）ふるえながら待つ、時計が10時35分を過ぎたのでスタート地点に行くと、スタート時間がいつのまにか38分に変更されている（これはちょっと具合が悪いのでは？）即スタート。

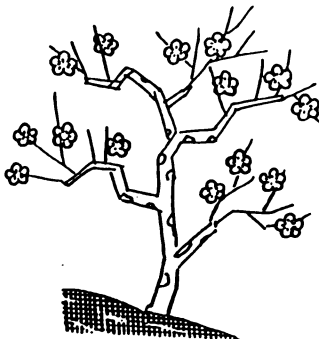
コースはパーマネント用を使用、記号書き写し方式、ポスト数18。このコースだとトリムにちょうど良い。軽く走ると汗をかく、疲れて歩くと汗が凍る（ちょっとオーバーかな）とにかく寒い、でもバードウォッチングや、観梅やらでかなりの人がいる、その中を家内と二人で歩くともなく、走るともなく、順調に進む。

梅もそこそこ咲いている。保さんは去年もそうだったが今年も梅は見なかったという。11時29分10秒無事ゴール。所用時間51分10秒（帰り際には2位）売店でお好み焼きとビールを買う、いくら寒くてもゴール後のビールはうまい。帰りは横田、吉村、両君も乗せて5人。朝方の火災の現場を見る、大きな倉庫でまだ煙が上がっている、翌日聞くところによると土曜日の夜10時頃に出火したらしい（火曜日AM10時ごろ近くを通ったらまだ水をかけていた）。

吉村君、横田君、保さんと順番に降ろして家に帰り、子供達を連れて買い物に、その帰り、忠岡方面でまたもや火事、時計は5時過ぎ、野次馬根性でかけつけるもやはり通行止め。ぐるりと回って臨海方面から見る。これもかなり大きな倉庫で、もはや手の付けようがないほどの勢いである。子供達に火事の怖さを教えて家に帰る。2階の窓から火の手が見える。何ということだこんな大きな火事が1日にふたつもあるなんて背筋が寒くなった。結局この火事も2日くらいくすぼっていたみたいである。皆さん火の元には充分注意をしましょう（これがのった会報が届く時分には暖かくなっているでしょう）。

KOLA会員の皆さん奮ってOLに参加しましょう。

えす・えぬ



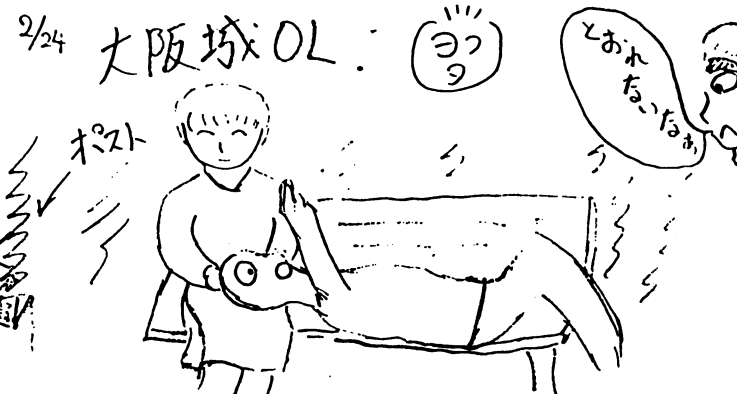
豊中OLC恒例の、梅香る大阪城でのOL大会。今回は、2・3日前からの寒波の到来で、咲き具合はちらほら程度。しかも当日も冷え込み、公園内の噴水も2cm程度の氷が張っていました。

前日未明まで天王寺で飲み続けていたので、家に帰らず生徒との集合地点に行ったため、コンパスを持ってこなかった。「今回は公園内だから、まあいいか」と思い集合地点につく。ところが、Bクラスはなんと白紙地図。城の堀とポスト位置だけしか書いていない。『コンパスがないとわからない!』とわめきつつ、コンパスを拝借する。

スタートと同時にてくてくと駆け出すのだが、いつもとどうも勝手が違う。方向が合っているのか、歩測が正確かと、首をひねりながら1つめのポストに向う。うろうろ探し回っていると20mくらい離れたところにミニポストが。だいぶ方向がずれていたようだ。

地図には全部で16のポスト位置が書いてあり、4つめぐらいまでは迷いに迷った。なんとか、公園の縁からの距離を目当てに探したのだが難しいものだった。最悪なのは、ミス

ポストを
2/24
ストを探す
段を上がった
を曲ったの
がいちゃつ
上について
で思えば、



した3つ目のポ
ストを探した。階
段を上がった。途
中だが、アベック
いていてすぐに
しまった。あと
これが敗因だっ

た。上を一生懸命探してもなかなか見つからない。「あそこにありますよ」とMさんが示してくれたのが、違うポストだった(堀との位置で確認したのだがみすがわからなかった)。実際は、アベックのいた向う側の階段に有ったのだが、アベックのせいで取り損ねたのであった。

その後しばらくは堀の凹みを目印にしていって順調にいていたのだが、最後の1つが回りに目標物がなくうろうろしてしまった。これもしつこく「堀の凹み」を目印に、コンタリングでやっと発見(ここで保さんと一緒だったのだが保さんは4つ目だった)。

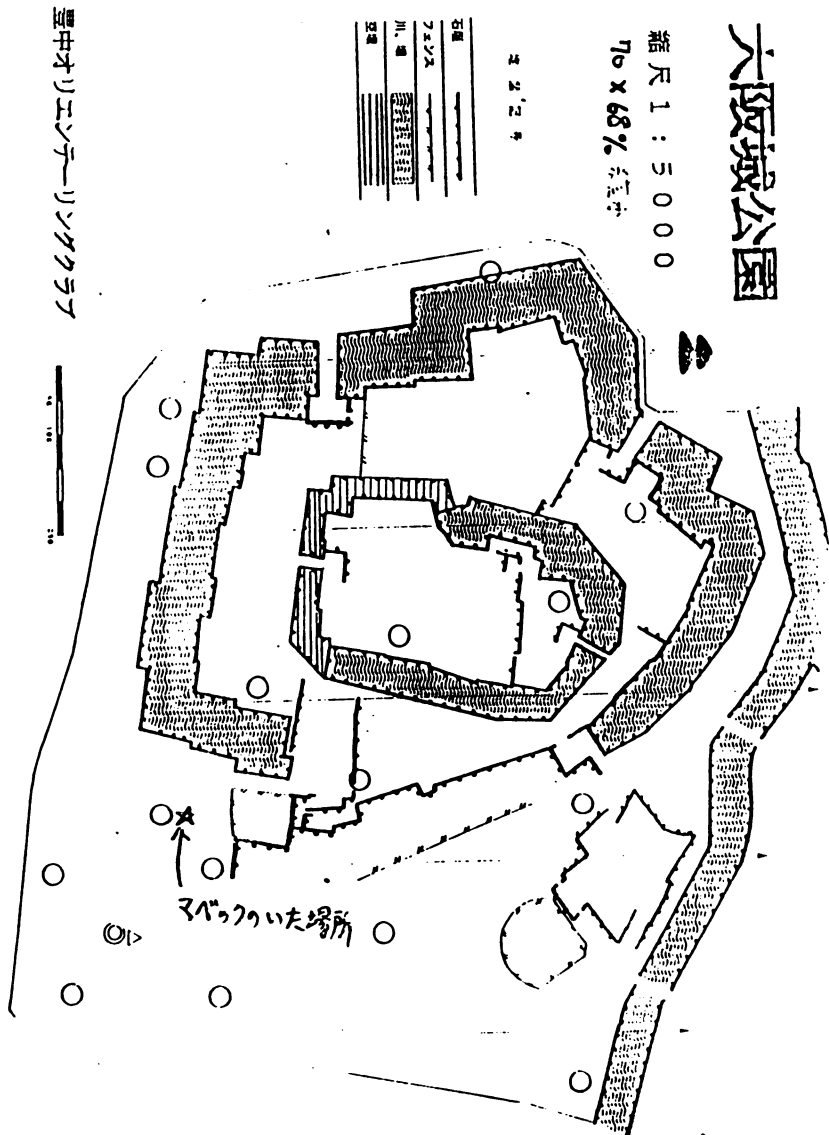
時間的にはトップだったのだが、ミスポストが1つあった。帰るときにKOLAの口の悪いメンバーが、「ペナの数え方がおかしい」と散々文句をいっていた。ぼくのP1は、実は「ミスポスト+取ってないポスト=P2」というのである。ごもつともな意見であるが、受け入れるとぼくの立場が悪くなるので、こういう意見は無視する。

公園でこういうOLをして、コンパスワークを練習するのはいいことだなあと思いつつ、帰路につくぼくでありました。(了)

成績発表

N		B	
井上秀雄	43分20秒	北川仁美	1時間26分17秒
中井眞次	51分10秒	北川達也	1時間31分01秒
井上美貴・啓子	51分50秒	横田実	1時間0分11秒 P 1
中島敦美	1時間05分40秒	亀田藤樹	1時間56分20秒 P 2
松本保・久子	1時間09分10秒	吉村耕治	2時間5分20秒 P 2
奥田義忠	1時間17分28秒	上野千代子	2時間32分50秒 P 2
塩谷佳信	1時間19分20秒	笠原一郎	2時間34分16秒 P 2
石地・竹内	1時間21分50秒	今谷哲雄	1時間23分10秒 P 3
藤田・河合	1時間33分48秒	寺田保	1時間25分20秒 P 3
有沢・藤垣	1時間34分25秒	村橋和彦	1時間42分15秒 P 4
正野・河合	1時間40分48秒	辻村紀子	1時間35分50秒 P 6
塩谷和枝	1時間48分18秒		
山岡音次郎	1時間52分40秒		
河津喜代典	1時間56分40秒		
村橋秀一郎	1時間15分45秒 P 1		

午後1時現在 発表分まで。
Bのペナの数は発表通り。



春のうららの…万博記念公園

by 横田

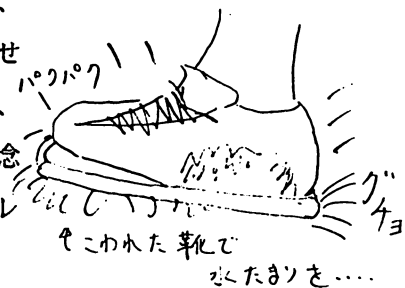
昨日の雨も上がり、絶好の花見日和……とは、いかなかったこの日の天気。どんよりと曇り、肌寒いくらいでした。それでも公園内は、かなりの人出。花見パレードが催されたり駅伝があったりと、華やかなものでした。

さて今回は「ポスト」を探すのではなく、プレートを探し出すという趣向でOLされました。日頃、紅白のポストを見慣れた人にとって、地面に埋め込んであるプレートを見つけ出すのは、少し時間がかかるかな？と思ってしまいました（実際は、全然迷わなかったのですが）。えっ、なんのプレートかって？。年配の方には懐かしい21年前の「日本万国博覧会」（僕は小学校1年でしたが）。その時のパビリオンがあった場所に、「×××館」というプレートが埋め込んであるのです。いや～、懐かしいですね。公園内には70以上のプレートが埋め込んであるそうです。

Aクラスは道沿いに、ぐるっと一周の周回コース。Bクラスは芝生内が白ぼてのコンタリングコース（あー、大阪城での悲劇が頭をよぎる）。久しぶりにビデオを片手に、せこせこと走り出す。(16)から取りにいったのだがボールペンを持ってこなかったことに気がついた。途中であった人にペンを借りてなんとか間に合わず（どうも有難うございました）。次に(20)(23)と回ってスタート地点に戻りペンを取って、再出発。以下、(21)(18)(26)(22)(24)(17)(25)(19)(11)(1)(8)(27)(3)(5)(7)(2)(9)(14)(12)(4)(10)(6)(15)(13)と回った。

前日の雨のせいで、芝生はぐちょぐちょ。走るたびに「びちゃ、ぐちょ」と音がする。おまけに(12)から(14)へ行くとき、川を横切ろうとしたときに、はまってしまい足がびしょ濡れ。う～ん、困ったもんだ。

今回は、道の曲がりさえ注意していれば、素直に見つけられることが多く苦労が少なかった。ただ、(3)は林の中でベンチが上に置いてあったので、ちと見つけずらかったですがね。また、(5)付近ではあちこちにプレートがあり、どれが目的の物なのか迷ってしまった。改めてパビリオンでも、でかい物から、ちまちました物まであったのかということのを思い起させます。この「プレートOL」は公園事務所にいっても、案内が置いてあるはず。うららかな春の1日を記念公園で過ごすときは、のんびり散歩気分であつたプレートを探すなんてのはいかかでしょうか。



成績です

B	永田 実	0時間38分11秒	N	村井和浩 ^②	1時間0分35秒
	池田辰雄	48分30秒		三宅芳郎 ^②	1時間3分41秒
	村橋和彦	53分13秒		松本 保	1時間4分24秒
	横田 実	56分17秒		村橋秀一郎 ^②	1時間11分20秒
	木村喜久夫	1時間7分47秒		西村・藤原	1時間12分30秒
	蜂須賀昭	1時間30分36秒		福田真也 ^②	1時間15分39秒
	寺尾 昭	2時間2分49秒		東口勝也 ^④	1時間16分50秒
				藤田由典	1時間20分47秒
BD	黒木正子 ^②	1時間56分35秒		藤田喜美子	1時間20分55秒
				佐野 明 ^③	1時間52分38秒
				大森幸次 ^④	2時間16分3秒
				永田一馬	1時間34分10秒 P 5

12時30分発表まで

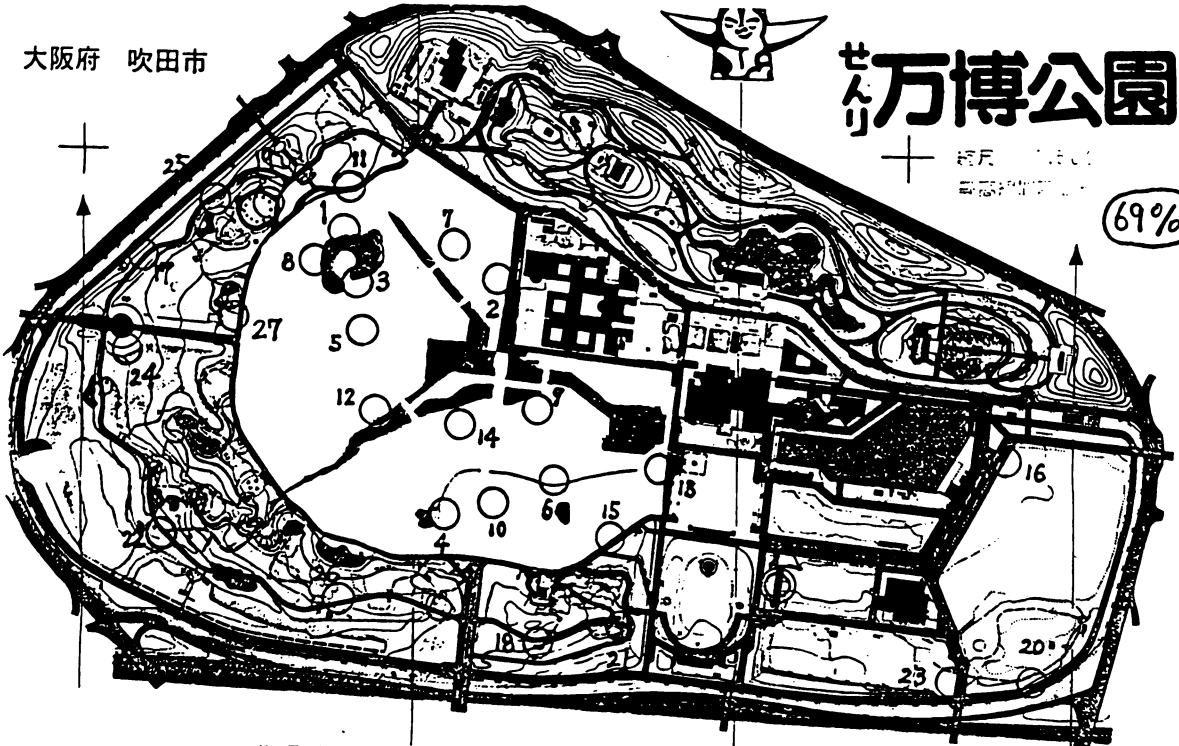
丸数字はグループ人数です。

大阪府 吹田市

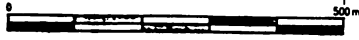
せのり万博公園

〒565 吹田市 万博公園

69%



地図記号		物	
	主要道路		入れない道路・用地
	一般道路		入れる道路・用地
	小道路		水
	小川		鉄路
	境界なし		石垣
	石垣なし		地
	石垣		川



自己紹介用紙

フリガナ	ひかし よしあき	性別	血液型	
氏名	東 義昭	男	B	
年齢	49 歳 (H30.4.1.現在)	生年月日	昭和 16 年 6 月 1 日	
現住所	〒 597 貝塚市富中2丁目10-11	TEL	0724-31-5083	
勤務先	名称 (医法) 爽神堂 七山病院			
	〒 590-04 泉南郡熊取町七山1209	TEL	0724-52-1231	

自己PR

精神科の看護師です。

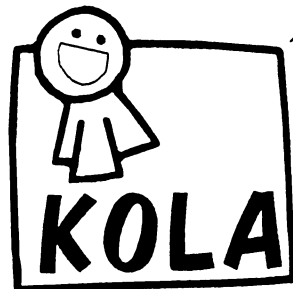
OLについては558年頃興味を持ったのですが、教えてもらう人や団体のあるのを知りないままにやっていた。生れ育ったのが大和の吉野町なので10代の頃はよく山歩きをしていました。近頃はとんとご無沙汰。体力の衰えにおののいて、青少年活動振興協会から大阪湾一周135kmウォークに参加して、OL講習会を知りました。今年7月頃には3級の資格が得られました。

他には水泳で泳いだ距離を記録し始めて2年3ヶ月。今月やっと大阪から熱海に着きました。夏頃には東京へ行けそうです。そんな訳で是非仲間に入れて載せたいと思います。本来のOLより、トリムが主で足手まといになると思っています。

4月21日 総会には出席させていただけますので、よろしくお願ひします。

新入会員の発表です。また一諸に楽しめる仲間が
ふえました。マラソンマンあり、
水泳マンあり当会もバラエー
ティとしてきました。

さあ、みんなも元気に
いこう。





無事
入試も終わりました。

もう
あそべるよ

高校生活は
楽しー。



久しぶり
ごすね。

2	1
4	3

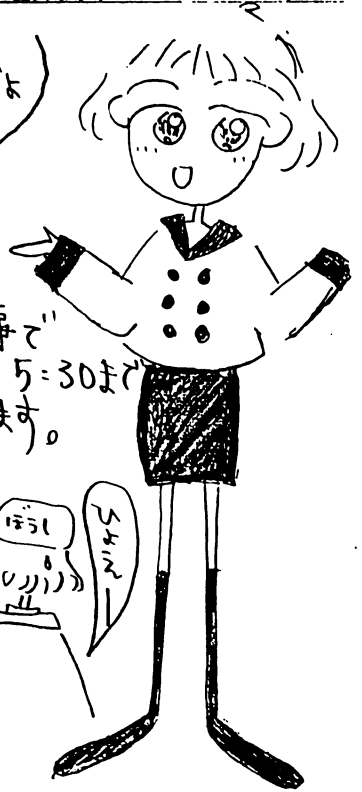
今バト
してるんだよ



〜
〜
〜
〜
〜

また今回から
K O L A ちゃん
日記
始まりますの
で

友達の家の
水産関係の仕事で
Am 9:00 から Pm 5:30まで
ぎょとタコを扱ってます。



KOLA

4月～5月

大会情報&エントリー(出場予定)状況

月日	大会名	開催地	出場予定又はエントリー
4/7	森林公園スコアOL<初心者向>	中央森林公園	
7	・第8回金沢大学OL大会	石川県	
21	☆KOLA'91年度総会<体力測定会>	中央公園・円山	会員は全員出席が原則です!
21	三河OLC(中日東海ブロック)大会	愛知県南設楽郡	
28	・OK 2 Days 2日間大会<阪大>	榛原町	横田, 瀬戸,
28	みんなで歩こう走ろう大阪	私市 府民の森	
29	・OK 2 Days 2日間大会<京大>	青山町	横田,
5/3	第12回長野県OL大会	駒ヶ根市	
4~5	・OAJ公認 O-CUP'91 inFUJIMI	富士見市	寺田, 寺田, 清水,
12	ザ・コンペ=大阪OLC		寺田, 中井, 横田,
19	・第4回ふるはうす大会	高槻市	瀬戸, 寺田, 横田, 清水,
19	第13回京葉OL大会	佐倉市	

大会等については事務局まで詳細をお尋ね下さい。・印は事務局に要項があります。

OLは、参加してこそ楽しいものです! みんなで行きましょう!

申し込み締め切り日

済=当日有《4/7》第8回金沢大学OL大会 =能登、志賀町
 済=当日有《4/21》中日東海ブロックOL大会 =愛知県作手村
 済=当日有《4/28》OK 2 days 阪大大会 =奈良県榛原町
 済=当日有《4/29》OK 2 days 京大大会 =三重県青山町
 済=当日有《5/4・5》OAJ公認O-CUPinFUJIMI =長野県富士見市
 4/27 《5/19》第4回ふるはうす大会 =高槻市原

＝会員外の方でも、結構です。声をかけて下さい。＝

4月21日はKOLAの年次総会です。

Aiming

うー、寒いぞ〜! 4月のお花見シーズン。それなのに気温は下がる一筋。
 バイロで走り回っているとこごえそうです。ゆい、これがすきれば桜の下
 でのお酒がまっている。新年度が始まりました。みんなで大会に
 出て美しい汗をかきましょうね。

静岡県オリエンテーリング協会

ORIENTEERING ASSOCIATION OF SHIZUOKA

調査日 1990年1月~1991年2月
 調査者 江塚澄人 亀谷光洋 木野村真一
 尾 正晴 多田茂紀 西尾孝夫
 西川勝美 原田隆行 山川克則
 作図者 西尾孝夫
 印刷 駒武雄堂

1991.3.10.000

平成2年度(第17回)
 全日本オリエンテーリング大会
 兼 静岡県民オリエンテーリング大会

日本オリエンテーリング協会
 静岡県オリエンテーリング協会
 平成3年3月24日(日)



H40A, D21A		6600	
1	114	▽	>
2	121	八	
3	205	▲	0.5 1.0 ○
4	310	m	2.0 ○
5	318	↓ ○	ん
6	322	≡	—
7	411	○	ん
8	422	○	○
9	420		
10	502	○	ん
11	555	∕ ∕)

○ — 150 — ○

救護所

地図記号

- 主幹道路
- 幹線道路
- 道 路
- 道
- 小 道
- 小 径
- 切り筋
- 送電中の道路
- 送電線、鉄線
- 植生界(明確、不明)
- 柵・柵(通り抜け不可)
- 柵・柵(通り抜け可能)
- 建物、建築物
- 高塔、小さな塔、塔
- 祠、石祠、皮肉屋敷
- 岩・石、大色岩、石
- 岩・石壁
- 土がけ、岩がけ(通過可能)
- 土がけ、岩がけ(通過不能)
- みぞ、小さな谷、谷
- 谷、小さな谷
- 凹地、小さな凹地
- 岩穴、洞穴(岩・土)
- 溝・季節的水路、せき
- 貯水庫(貯)
- 切株・樹木
- 立入禁止の雑木地
- 果樹園、杏木地
- 立入可能な雑木地
- 民家等の敷地
- 荒地、雑草地
- 走行可能
- ゆっくりとした歩み
- 歩いてしなだめたい
- 通行困難
- しいだけ
- 鬼神立ち入り禁止区域

富士愛鷹

FUJIASHITAKA 富士市長 鈴木清見 君
 FUJI & FUJINOMIYA, JAPAN

等高線間隔 5m
 CO-TOUR INTERVAL
 縮尺 1:15,000
 SCALE

